



滋賀県草津市立草津中学校
令和3年10月25日(月)



「いのちがやき 心豊かな生徒の育成」
～ひとを大切に ひとつを大切に～
10月1日現在 全校生徒数689人

感動の淡海祭をバネにして

秋も深まり、食卓には栗ごはんが並ぶ季節となりました。9月は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令で特例日課(午前中は対面授業、午後はオンライン授業)となりました。学校行事に関する取組がすべてストップとなり、延期にせざるを得ない状況でしたが、10月7日には体育祭、19日には合唱コンクールを実施することができました。これも、各家庭でも感染症対策を徹底していただいているおかげと感謝しております。



7色の勇者たち & ff

青団 この青空に青春をかけよう
 オレンジ団 草津の木キンモクセイ、オレンジ色の花を咲かせよう
 赤団 炎のように燃えよう
 紫団 誇り高く 自信をもって、闘おう
 黄団 キラキラと輝こう
 緑団 植物のようにしっかり根をはろう
 桃団 愛を・感謝を伝えよう

私は、開会式で7色の勇者たちに、この旗のメッセージを贈りました。



今年初めて取り組んだ団アピールは、コロナ禍において声を出さずにボディパーカッションやダンスで30秒間のパフォーマンスを披露するものです。短時間の練習でしたが3年生のリーダーが1、2年生に丁寧な指導をし、見事な出来栄で感動しました。

各団が発表している最中に、集団の演技力とアピールの迫力を感じ、生徒の間で自然と拍手がおこりました。実にすばらしかったです。

保護者ボランティアの皆さまには受付業務の協力をいただきました。誠にありがとうございました。



全校生徒が取り組んだ巨大モザイクアートは、白血病から奇跡の復活を遂げた池江璃花子選手でした。私たちはコロナを乗り越えようという思いを寄せるとともに『努力は必ず報われる』ことを進行役である生徒会執行部の本庄さんと沖さんが語りました。

また、体育祭には間に合いませんでしたが、学級旗の出来栄は芸術的でした。あつぱれ！です。

続く合唱コンクールでは、学年が上がるにしたがって、クオリティが高くなっていき、鳥肌が立つとともに感動の涙が込み上げてきました。特に1、2年生は3年生の合唱を生で聞くことができず残念でしたが、オンライン中継をとおして少しでも心のハーモニーを味わうことができたのではないのでしょうか。

女子制服に スラックスを導入！

令和4年4月から



去る10月17日(日) 制服検討委員会を開催しました。左図のように三者での懇談会を開催

できたことが価値あることだと考えています。生徒会、保護者、教職員それぞれのアンケート集計をもとに意見を交わしました。その結果、制服(標準服)見直しの第1段階として、まず、来年度から女子の制服にスラックスを導入することが三者一致で決まりました。また、「制服の必要性」「制服の機能性や価格」「男女の区別の必要性」など、根本的な議論の必要性が次期生徒会に託された課題となりました。生徒会通信も併せてご覧ください。